



# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 株式会社 T Y K  
 コード番号 5363 URL <http://www.tyk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 牛込 伸隆  
 (氏名) 北原 謙  
 TEL 0572-22-8151

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	20,691	21.0	3,160	71.2	3,336	53.8	1,654	30.6
30年3月期第3四半期	17,103	16.7	1,845	78.4	2,169	80.3	1,267	62.2

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 902百万円 (68.3%) 30年3月期第3四半期 2,849百万円 (64.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	37.08	
30年3月期第3四半期	28.39	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	40,895	30,490	66.1	606.11
30年3月期	39,740	30,219	68.1	606.51

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 27,048百万円 30年3月期 27,066百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		3.00		5.00	8.00
31年3月期		5.00			
31年3月期(予想)				6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,130	15.2	3,760	42.9	3,940	33.9	2,200	24.3	49.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	45,477,000 株	30年3月期	45,477,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年3月期3Q	850,550 株	30年3月期	850,250 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	44,626,641 株	30年3月期3Q	44,626,973 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、政府・日銀の推進する経済・財政政策により、人手不足の状態は依然抱えつつも、国内消費の増加や企業収支の改善をもたらし、緩やかな景気回復を続けております。一方海外においては、米国においては個人消費を中心に景気は底堅く推移しているものの、米中間の貿易摩擦による先行き不透明な状況の中、中国経済が弱含みで推移しており、ひいては世界経済全体への影響も懸念される状況となっております。

当社グループの主要取引先であります国内鉄鋼業界におきましては、当第3四半期連結累計期間における粗鋼生産量は前第3四半期累計期間比0.6%減の7,792万トンとなりました。

このような環境のもと、当社グループは品質第一の考えをもとに売上増加と生産性向上に全力で取り組んでまいりました。主力製品である製鋼用耐火物をはじめ、ファインセラミックス等の先端素材技術や環境創造技術へ挑戦し、コスト削減など経営合理化を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間においては、次の通りの経営成績となりました。

売上高は、主要顧客であります製鋼メーカー向け耐火煉瓦及び不定形耐火物等の堅調な売上に支えられ、また新素材関連商品の売上増もあり206億91百万円（前年同期比21.0%増）となりました。利益面では、原材料費を中心とした調達コストの増加がみられたものの、売上増に伴い固定費負担が相対的に低下し採算性が向上したことで、売上原価は前年同期比で21億44百万円の増加にとどまり、販売費及び一般管理費についても同様に前年同期比で1億27百万円の増加にとどまったことから、営業利益は31億60百万円（前年同期比71.2%増）となりました。経常利益は、主に保有する有価証券の配当金が増加したことにより、受取配当金が前年同期比で22百万円増加したものの、為替に関しては、前第3四半期連結累計期間は為替差益1億2百万円を計上していたものが、当第3四半期連結累計期間は為替差損53百万円を計上することとなり、33億36百万円（前年同期比53.8%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億54百万円（前年同期比30.6%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次の通りであります。

## ①日本

国内の売上高は158億2百万円（前年同期比23.6%増）となりました。また、セグメント利益は24億1百万円（前年同期比26.0%増）となりました。国内顧客向け販売は、耐火物業界を中心に引き合いの強い状態が続いており、そのため当社の販売量は堅調に推移しております。

## ②北米

北米の売上高は18億45百万円（前年同期比15.8%増）となりました。また、セグメント利益は53百万円（前年同期は22百万円の損失）となりました。米国景気は堅調に推移しており、顧客からの引き合いも多く売上・利益ともに改善しております。

## ③ヨーロッパ

ヨーロッパの売上高は23億27百万円（前年同期比16.2%増）となりました。また、セグメント利益は2億61百万円（前年同期比92.8%増）となりました。引き続き販売好調で、販売構成の変化により採算性が改善したことで、売上・利益ともに改善しております。

## ④アジア

アジアの売上高は4億26百万円（前年同期比7.6%増）となりました。また、セグメント利益は45百万円（前年同期比9.2%増）となりました。販売は徐々に増加してきており、製造コストが上昇しつつも売上・利益ともに改善しております。

## ⑤その他

その他の売上高は2億89百万円（前年同期比11.6%減）となりました。また、セグメント利益は1億5百万円（前年同期比4.1%増）となりました。販売は減少しておりますが、販売構成の変化等により利益は増加しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ、17億10百万円増加し、247億5百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（11億67百万円）及び原材料及び貯蔵品の増加（7億44百万円）によるものであります。

## (固定資産)

固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ、5億55百万円減少し、161億90百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券の減少（14億9百万円）及び有形固定資産の増加（5億93百万円）によるものであります。

## (負債)

負債の残高は前連結会計年度末に比べ、8億84百万円増加し、104億5百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等の増加（3億57百万円）及び支払手形及び買掛金の増加（3億53百万円）によるものであります。

(純資産)

純資産の残高は前連結会計年度末に比べ、2億70百万円増加し、304億90百万円となりました。その主な要因は、利益余剰金の増加（12億8百万円）及び非支配株主持分の増加（2億89百万円）並びにその他有価証券評価差額金の減少（12億17百万円）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月14日に公表いたしました平成31年3月期の通期連結業績予想を、以下の通り修正いたします。

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	25,590	3,180	3,450	2,400	53.78
今回修正予想 (B)	26,130	3,760	3,940	2,200	49.30
増減額 (B - A)	540	580	490	△200	—
増減率	2.1	18.2	14.2	△8.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	22,682	2,631	2,942	1,769	39.65

主力の鉄鋼向け耐火物のほか、新素材関連商品の需要増もあり、売上高、営業利益、経常利益につきましては上方修正いたしました。また、法人税等の補正を織り込んだことから、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては下方修正しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	8,764,110	8,005,299
受取手形及び売掛金	7,517,035	8,684,149
製品及び外注品	2,875,719	3,272,310
仕掛品	1,333,661	1,450,826
原材料及び貯蔵品	2,393,705	3,138,432
その他	126,524	175,104
貸倒引当金	△16,350	△20,997
流動資産合計	22,994,407	24,705,125
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物 (純額)	2,038,034	2,054,141
窯炉、機械装置及び運搬具 (純額)	1,627,880	1,668,068
土地	4,806,652	4,805,458
その他 (純額)	659,457	1,198,114
有形固定資産合計	9,132,025	9,725,782
無形固定資産	65,884	56,942
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	7,363,009	5,953,765
その他	260,612	527,176
貸倒引当金	△75,345	△73,195
投資その他の資産合計	7,548,276	6,407,746
固定資産合計	16,746,185	16,190,471
資産合計	39,740,593	40,895,596

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,365,001	1,718,326
短期借入金	3,943,208	4,150,430
未払法人税等	512,764	870,232
賞与引当金	389,757	153,567
その他	780,384	1,171,054
流動負債合計	6,991,116	8,063,611
固定負債		
繰延税金負債	276,740	516
役員退職慰労引当金	708,169	735,427
退職給付に係る負債	1,489,575	1,550,447
その他	55,866	55,489
固定負債合計	2,530,352	2,341,881
負債合計	9,521,469	10,405,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,398,000	2,398,000
資本剰余金	2,462,007	2,462,007
利益剰余金	20,383,371	21,591,772
自己株式	△163,904	△164,031
株主資本合計	25,079,474	26,287,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,138,512	920,688
繰延ヘッジ損益	△7	△2,454
為替換算調整勘定	△151,476	△157,555
その他の包括利益累計額合計	1,987,028	760,678
非支配株主持分	3,152,621	3,441,678
純資産合計	30,219,124	30,490,104
負債純資産合計	39,740,593	40,895,596

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	17,103,944	20,691,124
売上原価	12,392,454	14,537,255
売上総利益	4,711,489	6,153,868
販売費及び一般管理費	2,865,910	2,993,337
営業利益	1,845,579	3,160,531
営業外収益		
受取利息	4,866	3,508
受取配当金	156,193	178,471
為替差益	102,233	—
不動産賃貸料	61,025	60,929
その他	24,866	29,458
営業外収益合計	349,185	272,368
営業外費用		
支払利息	17,255	25,037
為替差損	—	53,746
不動産賃貸原価	7,696	8,146
その他	359	9,402
営業外費用合計	25,311	96,332
経常利益	2,169,453	3,336,567
特別利益		
固定資産売却益	1,758	833
投資有価証券売却益	3	29
貸倒引当金戻入額	1,450	2,500
特別利益合計	3,211	3,363
特別損失		
固定資産廃棄損	10,771	18,890
投資有価証券評価損	—	108
ゴルフ会員権評価損	6,900	650
貸倒引当金繰入額	—	350
損害賠償金	11,645	—
特別損失合計	29,316	19,998
税金等調整前四半期純利益	2,143,348	3,319,932
法人税等	641,256	1,182,232
四半期純利益	1,502,091	2,137,700
非支配株主に帰属する四半期純利益	234,992	483,032
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,267,099	1,654,667



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	1,502,091	2,137,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,196,795	△1,221,902
繰延ヘッジ損益	△22	△2,446
為替換算調整勘定	150,650	△10,407
その他の包括利益合計	1,347,423	△1,234,757
四半期包括利益	2,849,515	902,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,580,082	428,316
非支配株主に係る四半期包括利益	269,432	474,626

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,783,329	1,593,718	2,003,114	396,421	16,776,583	327,360	17,103,944
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,102,733	—	57,102	3,260	2,163,096	735,283	2,898,379
計	14,886,062	1,593,718	2,060,216	399,682	18,939,680	1,062,644	20,002,324
セグメント利益又は損失(△)	1,905,659	△22,116	135,809	41,433	2,060,785	101,390	2,162,176

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,060,785
「その他」の区分の利益	101,390
セグメント間取引消去	△19,015
全社費用(注)	△297,582
四半期連結損益計算書の営業利益	1,845,579

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,802,138	1,845,074	2,327,823	426,649	20,401,686	289,437	20,691,124
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,104,936	6,470	61,927	20,296	2,193,629	788,648	2,982,278
計	17,907,074	1,851,545	2,389,750	446,945	22,595,316	1,078,086	23,673,402
セグメント利益	2,401,121	53,882	261,874	45,240	2,762,118	105,528	2,867,647

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,762,118
「その他」の区分の利益	105,528
セグメント間取引消去	△28,826
全社費用(注)	321,710
四半期連結損益計算書の営業利益	3,160,531

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。